

県商創立 140 周年 記念式典

「祝辞」



県商は幾星霜を重ね、本日創立百四十周年を迎えます。誠にご同慶の至りに存じます。

さて神戸港の貿易の発展を担う人材育成機関として時の森岡兵庫県令と慶応義塾創始者である福沢諭吉先生によって明治 11 年 1 月 16 日に開校された「神戸商業講習所」が母校の前身であります。

これは明治 8 年に開学された東京商法講習所(現一ツ橋大学)に次ぐ我が国における 2 番目の近代的商業教育機関で、入学資格は 14 歳以上。開校時の生徒・19 名から始まった県商は、140 年を経て卒業生が 3 万人を超え、開学以来多くの優秀な人材を世の中に輩出し日本の経済、政治、文化の発展に大きな功績を果たして参りました。

森岡県令の先見性と福澤諭吉先生の協力なしでは兵庫県立神戸商業高等学校の誕生はなく、又、日本の近代化も遅れており、改めてここに県商の存在の必要性和歴史の重みをつくづく感じるところであります。

ところで 140 年の歷程に於いては戦争や戦後の学制改革など激動の時代、そして近年に入り、学校の生き残りをかけて個性化、特色化等独自の学校運営や新しい時代に相応しい教育の創造が求められている中、歴代校長先生をはじめ、諸先生方が一丸となり、教育に掛ける情熱を以って幾多の困難を克服し前進される姿勢に何度も感銘を受けたものです。

英断と実行の連続が試練苦闘の時代を乗り越えめでたく本日を迎えたわけで、学校関係者の計り知れないご尽力に敬意を表し、衷心より感謝を申し上げる次第でございます。

最後になりましたが、140 周年を契機に歴史と伝統を礎に次の新しい時代が今日から始まります。これからの兵庫県立神戸商業高等学校の輝かしい歴史を創るのは本日ここに出席されている在校生の皆さんです。次なる 150 年を目指し、母校の更なる躍進と共に在校生の皆さんの益々の活躍を祈念申し上げお祝いのことばと致します。

平成 29 年 10 月 7 日

一般財団法人 神商同窓会
理事長 大野 美代子